

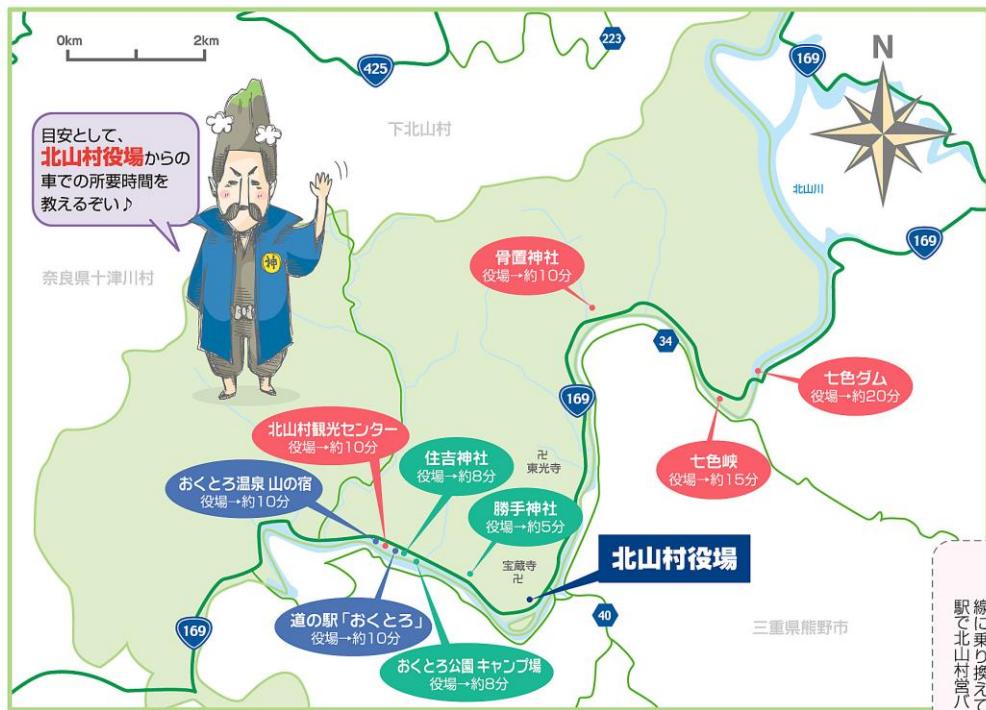
全国唯一の飛び地の村、伝統と誇りを継承。

和歌山県でありながら、三重県と奈良県に囲まれ、和歌山県のどの市町村とも隣接しない特殊な位置にある北山村は全国唯一の飛び地の村です。

昔から林业で栄え、就業人口の半数を伐師（いかだしき）が占めています。力ボスなどより果汁が豊富で独特の風味があり、糖度と酸度のバランスがとれたまろやかな味わい。現在、加工品としてドリンク、ワイン、ポン酢などバリエーションも豊かで、関西をはじめ、各方面へ出荷しています。また、近年、花粉症に効果があるとの評判があり、インターネット販売などでも売りあげが上昇しています。

今ではスリルと冒險を体験できる観光として、夏の風物詩となっています。主な産業としては、じゃばらの生産、加工、販売。柑橘類のじゃばらは、ゆずやシロップも豊かで、関西をはじめ、各方面へ出荷しています。また、近年、花粉症に効果があるとの評判があり、インターネット販売などでも売りあげが上昇しています。

おーじとしづくとななっつの あの町この村ぶらり旅 Vol.12 北山村特集



夏の夜空に立ちあがる炎。
毎年8月15日、おくとろ公園で松明を花火籠投げ入れる柱が行われます。20メートル柱が舞い上がりります。また、村民による盆踊り大会が行われます。

電車の場合
JR新大阪駅からJRさくら線特急（オーシャンアロー・スーパーこうじおなど）に乗り、JR新宮駅で降車。そこまで約250分。後続の紀勢本線に乗り換えてJR熊野市駅へ約30分。熊野市駅で北山村営バスに乗り、北山村へ約60分。

北山村へのアクセス

車の場合

「大阪・京都方面から」

新庄IC→南阪奈道路

小房交差点右折→国道49号

和歌山自動車道和歌山方面

和歌山JCT→阪和自動車道

新紀田辺IC→国道450分

国道311号→国道468号

北山村 約240分



ジャバラライダーと秋の収穫祭。

北山村内にある大沼地区の勝手神社と、下尾井地区の住吉神社では、毎年11月23日に例大祭が行われ、各地区の人々が集まりて餅まきが行われます。北山村に秋の訪れを告げます。



秋の風物詩、地域の例大祭。

平成21年11月から始まった「じゃばらの里の収穫祭」は、おくとろ公園で行われるイベント。大きな熱気球を飛ばしたり、獣師さんが炊いてくれる猪鍋を無料提供したり、楽しいうえに美味しいイベントがてんこ盛り。北山村オリジナルキャラクター「ジャバラライダー」も要エッグです！



北山村は『村ぶろ』を通して、北海道の上士幌町と連携を進めています。上士幌町は『村ぶろ』のシステムを活用し、平成20年12月に『かみしほろん.com』をオープン。両町村が持つ通販サイトを通じて共同開発した商品などの販売や、イベントへの相互参加などに取り組んでいます。



北山村ブログポータルサイト「村ぶろ」

「村ぶろ」とは、平成19年6月21日にオープンした紀州熊野地域（和歌山県、三重県南部、奈良県南部）の市町村と連携した地域密着型ブログポータルサイトのこと。北山村の情報はもちろん、紀州・熊野の情報総合サイトもあります。当時、サイトを自治体で運営するのは初の試み、とても先進的でした。



インターネットでのじゃばら販売や、「村ぶろ」で村の人口を大きく上回る会員数を集めることなど、地域の活性化とともに情報通信技術の利活用の推進に多大な貢献をしたとして、平成22年『地域づくり総務大臣表彰』を受賞しました。北山村は、ほかにも数々の賞を受賞しています。



安心して楽しめるアトラクション。



北山村の夏の風物詩「筏下り」は、かつては村の豊かな木材を下流に運ぶ手段でした。それからようやく観光に活かすと始まったのが昭和30年。現代まで絶えず、北山村を代表する観光アトラクションとなりました。



北山村観光センターで受付をすませ、専用バスでオトノリ（筏乗場）へ向かいます。ライフジャケットを身につけて筏に乗り込み、筏師さんの確かな操縦で、約1時間かけてゆっくり川をくだります。



流れのゆるやかなコースでは、左右にそびえる風光明媚な渓谷をのんびりと眺めて、まつり。川からは治道や民家、電柱などの人工物が見えないので、大自然をまるごと体感できます。



完全予約制 北山村観光筏下り

【乗船対象者】

満10歳以上、満75歳以下の健脚な方
妊娠中の方、飲酒されている方は参加できません。

【料金】お1人さま

〈5・6・7・9月〉大人6,000円 小学生3,000円
〈8月〉大人7,000円 小学生3,000円

【受付時間】1日2便

〈第1便〉10時20分まで 〈第2便〉12時40分まで

【運行期間】

5月3日～9月の5ヶ月間 ※定期運行日は月によって異なります。

【お問い合わせ・お申し込み】

北山村観光センター 0735-49-2324 午前9時～午後5時
(連休期間は土日祝は休業)

知られる
北山村の噂を
徹底検証！



北山村のピックアップ情報局

北山村の 噂1

北山村は 全国唯一の飛び地らしい！

北山村は、三重県と奈良県に囲まれ、和歌山県に接していない「飛び地」の村です。それなのに、何故和歌山県なのでしょう？ その理由は、和歌山県新宮市との密接な関係にあります。

昔から良質な杉に恵まれ、林業で栄えた北山村。伐採された木材は、筏で木材集積地の新宮まで運ばれます。当時の北山村の人口は、大半を筏師が占めていたそうです。林業という繋がりで、新宮の木材業者と筏師は、切っても切れない関係で成り立っていました。明治4年、廃藩置県が実施され、新宮が和歌山県に編入された際に「新宮が和歌山県に入ったのなら私たちも…」との村民の意見が聞き入れられ、北山村は和歌山県に編入されました。

北山村の 噂2

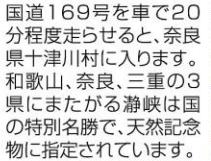
「七色峡」は、 7回色が変わるらしい！



「七色峡」は、朝には冴えた青、昼は穏やかなブルークリーン、夕暮れには鮮やかな赤、月夜には深い濃紺…などなど、時間の移り変わりとともに、川の水の色が七色に変化するということから名づけられたそう。何ともロマンチックなネーミングです。

北山村の 噂3

国の天然記念物「瀧峡」の 上流に行ってみました！



国道169号を車で20分程度走らせると、奈良県十津川村に入ります。和歌山、奈良、三重の3県にまたがる瀧峡は国の特別名勝で、天然記念物に指定されています。

瀧峡は、熊野川の支流北山川にある約31kmに渡る渓谷。迫力のあるそびえ立つ岩肌、穏やかな水の流れに心が洗われるようです。

北山村の 噂4

「飛び地訪問証明書」が もらえるらしい！



北山村観光センターでもらえる「飛び地訪問証明書」の裏面のアンケートに記入して応募すると、じゅばら商品が抽選で当たるチャンス！

北山村の 噂5

「骨置神社」の 変わった名前の由来とは？！

北山村に逃れてきた後醍醐天皇の皇子、護良親王（もりよしんのう）の、亡くなった若君の頭（公頭（こうず））を置いた神社というのが、骨置神社の名前の由来となったそう。



北山村の 噂6

筏師さんとお揃い！ 「オリジナルTシャツ」。

筏下りで筏師さんに惚れちゃった人に朗報！ お揃いのTシャツ（黒・白の2色）や笠を購入できちゃいます。黄色いじゅばらTシャツも可愛い。いずれも「道の駅おくとろ」で販売中！



筏Tシャツは村の
デザインなんだけれど

長年の研究の結果で判明。

じゃばらで健康！



平成13年、じゃばら村センターがお客さんの声をキッカケに「花粉症モニター調査」を実施、それがマスコミにも取りあげられ、じゃばらは一躍注目されるようになりました。

さらに平成15年、和歌山県工業技術センターの学会発表で、じゃばらにはアレルギー抑制効果のあるフラボノイドの成分(ナリルチンやナツダイン)が、他の柑橘に比べて非常に多く含まれることも分かりました。じゃばらは薬とは違った天然果汁なので、副作用などの安全面においても問題がありません。

じゃばらは花粉症で困っている人の、心強い味方なのです。



じゃばらはビタミン・ミネラルもめちゃめちゃ豊富よ。
ビタミンA・B1・B2・Cをはじめ、カルシウム、鉄など…
お肌にも良いし、女性にも優しい果実だっていうのは
言うまでもないわね～。



北山村の特産品「じゃばら」を、食べたい飲みたい！

「じゃばら」とは、柚子やカボスの仲間で、昔から北山村に自生していた柑橘類。糖度と酸度のバランスが良い、まろやかな風味が特徴です。「邪(氣)をはらう」ところからこの名前がつけられています。



これらの商品はほんの一部。
『道の駅 おくとろ』のほか、
インターネットでも購入できますよ！

北山村 じゃばら

検索



じゃばらジュース

スッキリと飲みやすい新商品の「じゃばらまる」。元祖「じゃばらドリンク」は、じゃばらの風味を活かしたスタンダード。



じゃばらジャム

本物の味にこだわった無添加ジャム。果皮の香りを残したママレードと、お子さまも食べやすい味わいを2種類。



じゃばらぽん酢

お鍋や冷や奴と相性抜群。モニター調査で大人気の定番商品は、1本1本手作りで仕上げた香りと旨味が自慢の逸品。



じゃばら胡椒

じゃばらの表皮、青い唐辛子、塩をミックスした練り胡椒。ピリッと味が引き締まるので、お肉料理のアクセントにピッタリ。



じゃばら飴

お手軽に花粉症対策、お子さまからお年寄りまで人気のじゃばら飴は、デザインがリニューアルしておしゃれに。



じゃばらシャーベット

【道の駅おくとろ 限定商品】
おくとろ温泉でゆっくりした後に、さっぱりとしたじゃばらのシャーベットがオススメ。夏期限定。



じゃばら酒

和歌山の蔵元が造った、じゃばら果汁と日本酒をブレンドしたリキュール。甘すぎない大人味は、女性にも人気です。



じゃばらガゼット

じゃばらの果汁と果実ペーストに、紀州のおいしい果汁をブレンド。砂糖不使用なので、色々なお料理に使えます。



といいところまでようこそ、 村のおもてなしの宿。

村営の「おくとろ温泉 やまのやど」は、平成23年5月にリニューアルしました。館内は北山村長であり、建設の技術士でもある奥田貢氏のこだわりのインテリアや高知県出身のデザイナーであり、じゃばら商品などをトータルコーディネイトしている梅原貢氏のデザインで来客をおもてなしします。

木造のバンガローは全7棟、うち3棟はバス・トイレ付き。周辺には、寝袋、飯ごうなどキャンプ必須アイテムをレンタルしてくれるオートキャンプ場のほか、夜でも使用可能なテントホールや、サッカー、野球など様々なスポーツに利用できる他目的グラウンドがあり、大自然の中で体を動かしてリフレッシュ。



そしてこの宿の一番の魅力はおくとろ温泉。源泉かけ流しで、泉質は硫酸黄泉、効能は神経痛、関節痛、冷え性、慢性皮膚病、慢性消化器病など。おくとろ温泉の特徴は、間伐材などのバイオマス資材を利用したボイラーフィルターによるクリーンエネルギー。また、渓谷美に包まれた露天風呂が自慢で、広い内湯や村には、ほかにも宿泊施設が約4カ所ありますよ。



御
礼

取材にご協力いただいた方に、この場を借りて厚く御礼申しあげます。

© 和歌山県町村会 本企画の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。本企画に掲載しているデータは2011年8月現在のものです。

詳しい内容の紹介、お問い合わせは、北山村観光センター [0735-49-2324]、もしくは和歌山県町村会へ。